



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,803	6.5	566		521		511	
2023年3月期第2四半期	13,903	35.5	501		32		313	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 532百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 305百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	238.28	
2023年3月期第2四半期	146.66	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,060	6,213	28.2
2023年3月期	20,051	4,621	23.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,213百万円 2023年3月期 4,621百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,996	2.0	531		513	106.9	368		172.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,289,434 株	2023年3月期	2,139,434 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,000 株	2023年3月期	1,806 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,145,740 株	2023年3月期2Q	2,137,762 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2023年11月24日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行等に伴い個人消費をはじめ経済活動の正常化が進みましたが、ウクライナ情勢の長期化、円安の進行、世界的な物価上昇等、引き続き先行きが不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症への警戒感が薄らぎ、客足や売上は回復傾向にあるものの、物価上昇に対する消費者の生活防衛意識は依然強く、原材料価格やエネルギーコスト等の高騰、人材不足等の状況の中、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持し、さらなる品質向上のため、日々努力を続けております。消費者の意識・行動がコロナ禍を経て大きく変化しているなか、多くのお客様に選んでいただける店づくりのため、「商品の価値」をより強く訴求できるメニュー開発と社内教育に注力し、加えて、店内業務の見直しやDXにより料理提供時間の短縮を図る等、お客様満足度向上に向けた取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高148億3百万円（対前年同期比6.5%増）、営業利益5億66百万円（前年同期は営業損失5億1百万円）、経常利益5億21百万円（前年同期は経常損失32百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億11百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億13百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「安楽亭業態」、「七輪房業態」、「アークミール」及び「その他業態」から、「安楽亭・七輪房業態」、「アークミール業態」及び「その他業態」に変更し、共通費の集計及び配賦方法を変更しております。当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、セグメント変更後の区分に基づいております。

#### ① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当第2四半期連結累計期間末の店舗数は177店舗であります。内訳は直営125店舗、暖簾16店舗、FC36店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」にて、素材の特長を生かす「自然肉」の美味しさと価値を消費者にダイレクトに伝える新メニュー「ワイルドシリーズ」（「ワイルドカルビ」、「ワイルドロース」、「ワイルド上タン」）の販売を引き続き強化してまいりました。加えて、「ワンコインランチ」（税込500円）の販売、主力商品「ファミリーカルビ」等3品の値下げ（税別390円の「サンキュー価格」でのご提供）、「学生専用食べ放題コース」の販売等、より幅広い客層・ニーズにこたえるための施策も積極的に進めてまいりました。

「七輪房」では、お盆特別メニューとして上タンや黒毛和牛を華やかに盛り合わせた「人気部位満喫盛り」を販売する等、多様で上質な肉の魅力アピールするフェア施策を実施してまいりました。さらに、ディナー時間帯の来店促進として「17時以降来店のお客様限定 生ビール290円クーポン」を配信する等、多様なニーズに合わせた施策を実施しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は60億71百万円（対前年同期比2.9%減）となり、セグメント利益（営業利益）は85百万円（前年同期はセグメント損失1億85百万円）となりました。

#### ② アークミール業態

アークミール業態の当第2四半期連結累計期間末の店舗数は130店舗であります。内訳は直営128店舗、FC2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス」の各業態において、「やみつきラムステーキフェア」（ステーキのどん）、「夏季限定 牛タン食べ放題コース」（どん亭）、「重量級ステーキフェア」「夏のフレッシュメニューフェア」（フォルクス）等、積極的に来店促進の施策を展開してまいりました。また、「ステーキのどん」で税込869円のオリジナルとんかつ「どんかつ」をはじめとする「バリューランチ」カテゴリーを新設するなどして、消費者の節約志向にも対応してきました。

以上の結果、アークミール業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は84億72百万円（対前年同期比14.1%

増)となり、セグメント利益(営業利益)は6億89百万円(前年同期はセグメント損失81百万円)となりました。

③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結累計期間末の店舗数は7店舗であります。内訳は直営5店舗、FC2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「上海菜館(中華)」、「カフェビーンズ(喫茶)」、「安楽亭ベトナム(焼肉)」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億60百万円(対前年同期比14.4%増)となり、セグメント損失(営業損失)は11百万円(前年同期はセグメント損失21百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ20億8百万円増加し、220億60百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ4億17百万円増加し、158億47百万円となりました。これは、長期借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ15億91百万円増加し、62億13百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、公募増資による資本金及び資本剰余金の増加等が要因です。

② キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、27億47百万円増加し、51億38百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上5億96百万円、棚卸資産の減少額4億19百万円等により12億45百万円の収入となりました。前年同期は4億96百万円の収入でありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2億18百万円、無形固定資産の取得による支出42百万円等により1億68百万円の支出となりました。前年同期は3億1百万円の支出でありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入11億97百万円、長期借入金の返済による支出5億22百万円、株式発行による収入10億60百万円等により16億66百万円の収入となりました。前年同期は7億64百万円の支出でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年8月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,597,664	5,344,680
売掛金	1,310,690	1,161,571
商品及び製品	622,297	615,457
仕掛品	5,330	12,612
原材料及び貯蔵品	1,096,972	677,321
前払費用	456,027	430,862
その他	115,636	68,046
貸倒引当金	△4,917	△4,917
流動資産合計	6,199,701	8,305,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,153,797	3,039,111
機械装置及び運搬具（純額）	58,982	50,646
工具、器具及び備品（純額）	379,839	407,016
土地	6,080,942	6,080,942
リース資産（純額）	80,138	101,925
建設仮勘定	23,154	12,685
有形固定資産合計	9,776,855	9,692,327
無形固定資産		
のれん	12,133	6,066
その他	533,838	548,401
無形固定資産合計	545,972	554,468
投資その他の資産		
投資有価証券	150,809	169,909
長期貸付金	1,885	829
長期前払費用	85,575	75,738
繰延税金資産	165,834	209,318
敷金及び保証金	3,123,744	3,051,467
その他	27,998	27,581
貸倒引当金	△26,721	△26,698
投資その他の資産合計	3,529,126	3,508,148
固定資産合計	13,851,954	13,754,943
資産合計	20,051,656	22,060,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940,679	944,930
短期借入金	3,622,200	3,704,248
1年内返済予定の長期借入金	1,492,056	1,596,385
リース債務	36,693	33,100
割賦未払金	301,804	278,787
未払金	321,709	291,555
設備関係未払金	67,650	53,800
未払費用	823,397	787,806
未払法人税等	100,338	176,395
未払消費税等	447,450	301,981
賞与引当金	156,200	125,300
資産除去債務	7,782	7,300
その他	422,138	383,520
流動負債合計	8,740,100	8,685,113
固定負債		
長期借入金	4,448,644	5,018,571
リース債務	115,089	136,053
長期割賦未払金	650,943	548,464
繰延税金負債	185,180	186,435
役員退職慰労引当金	142,370	148,884
退職給付に係る負債	441,669	433,087
資産除去債務	351,974	349,266
その他	354,374	341,630
固定負債合計	6,690,246	7,162,393
負債合計	15,430,346	15,847,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,712,684
資本剰余金	2,472,098	3,002,397
利益剰余金	△1,052,073	△540,787
自己株式	△10,349	△11,738
株主資本合計	4,592,061	6,162,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,815	37,661
為替換算調整勘定	11,434	14,976
退職給付に係る調整累計額	△2,002	△2,120
その他の包括利益累計額合計	29,248	50,517
純資産合計	4,621,309	6,213,072
負債純資産合計	20,051,656	22,060,579

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	13,903,719	14,803,630
売上原価	5,283,562	5,617,316
売上総利益	8,620,156	9,186,314
販売費及び一般管理費	9,121,777	8,620,088
営業利益又は営業損失(△)	△501,620	566,225
営業外収益		
受取利息	1,746	909
受取配当金	1,819	1,878
受取地代家賃	23,491	23,670
助成金収入	499,718	—
その他	12,706	19,225
営業外収益合計	539,481	45,683
営業外費用		
支払利息	65,456	58,073
支払手数料	895	28,299
賃貸収入原価	3,216	3,215
その他	307	902
営業外費用合計	69,875	90,491
経常利益又は経常損失(△)	△32,014	521,417
特別利益		
固定資産売却益	—	1,964
受取保険金	—	2,376
受取補償金	—	100,000
特別利益合計	—	104,340
特別損失		
固定資産除却損	1,061	2,481
減損損失	157,911	17,165
賃貸借契約解約損	101,650	9,244
特別損失合計	260,623	28,891
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△292,638	596,866
法人税、住民税及び事業税	57,067	129,005
法人税等調整額	△36,192	△43,424
法人税等合計	20,875	85,580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△313,513	511,285
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△313,513	511,285



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△313,513	511,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,345	17,845
為替換算調整勘定	10,382	3,541
退職給付に係る調整額	△683	△117
その他の包括利益合計	8,353	21,269
四半期包括利益	△305,160	532,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△305,160	532,555

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△292,638	596,866
減価償却費	377,940	352,471
減損損失	157,911	17,165
のれん償却額	6,066	6,066
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	△22
賞与引当金の増減額(△は減少)	△886	△30,900
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,513	6,513
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△6,648	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	48,531	2,235
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,221	△8,759
受取利息及び受取配当金	△3,565	△2,787
助成金収入	△499,718	—
支払利息	65,456	58,073
為替差損益(△は益)	△868	△1,447
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,964
受取保険金	—	△2,376
受取補償金	—	△100,000
固定資産除却損	1,061	2,481
賃貸借契約解約損	101,650	9,244
売上債権の増減額(△は増加)	48,607	149,118
棚卸資産の増減額(△は増加)	△264,616	419,208
前渡金の増減額(△は増加)	△937	△9
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,975	4,251
未払金の増減額(△は減少)	130,273	△19,814
未払消費税等の増減額(△は減少)	241,871	△145,469
未払費用の増減額(△は減少)	△55,199	△43,863
預り金の増減額(△は減少)	△24,752	△34,657
前受収益の増減額(△は減少)	131,229	3,573
その他	△33,697	△24,550
小計	97,367	1,210,649
利息及び配当金の受取額	3,165	2,409
助成金の受取額	626,446	—
利息の支払額	△54,793	△51,283
保険金の受取額	—	2,376
補償金の受取額	—	100,000
店舗閉鎖に伴う支払額	—	△6,194
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△175,189	△12,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,996	1,245,638

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△320,673	△218,434
有形固定資産の売却による収入	—	2,643
無形固定資産の取得による支出	△44,648	△42,073
敷金及び保証金の差入による支出	△1,304	△55
敷金及び保証金の回収による収入	34,052	79,040
預り保証金の返還による支出	△1,500	△4,500
預り保証金の受入による収入	—	2,500
貸付金の回収による収入	882	1,014
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	31,355	11,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301,835	△168,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入れによる収入	50,000	1,197,000
短期借入金の返済による支出	△74,800	△17,952
長期借入金の返済による支出	△562,823	△522,744
セール・アンド・割賦バックによる収入	—	8,199
割賦債務の返済による支出	△145,886	△136,363
リース債務の返済による支出	△30,230	△20,798
株式の発行による収入	—	1,060,597
自己株式の取得による支出	△936	△1,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,676	1,666,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,231	3,077
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△563,284	2,747,013
現金及び現金同等物の期首残高	3,742,508	2,391,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,179,223	5,138,789

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年9月21日付で、有償一般募集による増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が530,298千円、資本準備金が530,298千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,712,684千円、資本剰余金が3,002,397千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	6,252,997	7,423,323	227,398	13,903,719	13,903,719	—	13,903,719
外部顧客への 売上高	6,252,997	7,423,323	227,398	13,903,719	13,903,719	—	13,903,719
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,252,997	7,423,323	227,398	13,903,719	13,903,719	—	13,903,719
セグメント損失 (△)	△185,068	△81,780	△21,613	△288,462	△288,462	△213,158	△501,620

(注) 1. セグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては48,497千円であります。

「アークミール業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては101,860千円であります。

「その他業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては7,553千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	6,071,265	8,472,315	260,049	14,803,630	14,803,630	—	14,803,630
外部顧客への 売上高	6,071,265	8,472,315	260,049	14,803,630	14,803,630	—	14,803,630
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,071,265	8,472,315	260,049	14,803,630	14,803,630	—	14,803,630
セグメント利益 又は損失(△)	85,957	689,161	△11,869	763,250	763,250	△197,024	566,225

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの経営管理及び事業実態に合わせた損益管理を行うため、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「安楽亭業態」「七輪房業態」「アークミール」「その他業態」から、「安楽亭・七輪房業態」「アークミール業態」「その他業態」に変更し、共通費の集計及び配賦方法を変更しております。

なお、前第2四半期四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては4,348千円であります。

「アークミール業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては12,816千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2023年9月6日開催の取締役会において、以下のとおり、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、2023年10月17日に払込が完了いたしました。新株式発行の概要は以下のとおりであります。

(1) 募集株式の種類及び数	普通株式 22,000株
(2) 割当価格	1株につき 7,070.65円
(3) 資本組入額	1株につき 3,535.325円
(4) 割当価格の総額	155,554,300円
(5) 資本組入額の総額	77,777,150円
(6) 払込期日	2023年10月17日
(7) 割当先	野村証券株式会社
(8) 募集方法	第三者割当増資 (オーバーアロットメントによる売出し)
(9) 資金の用途	第三者割当増資による新株式発行の調達資金は、公募による新株式発行の調達資金と合わせて、店舗の業態転換、設備更新及び店舗DX投資に充当する予定です。